



Design

Design ～地域包括ケア病棟から地域をデザインする～

発行元：地域包括ケア病棟“彩り”・リハビリ科・地域医療連携室

地域包括ケア病棟広報誌Design号外33号です。表面は、“彩り”の活動報告です。裏面は、個室22号のご案内です。（地域医療連携室 室長 南出 弦）



老健やましろのレクリエーションに参加しました。

～患者さんの彩り豊かな入院生活のために～

9月27日（金）老健やましろで開催された音楽レクリエーションに、地域包括ケア病棟“彩り”入院中の患者さんにも、入院生活の質の向上を目的として、参加していただきました。

音楽レクリエーションでは、中国の伝統的な擦弦楽器である二胡を使用し、“ふるさと”“上を向いて歩こう”等の懐かしい名曲が演奏されました。参加された患者さんは歌を口ずさみながら、ゆったりと演奏を聴かれていました。また、私自身、二胡という楽器を初めて知りましたが、二胡が奏でる艶やかな音色に聴きいってしまいました。地域包括ケア病棟（8F）から老健やましろ（4F）まで付き添いで歩いて行きましたが、患者さんには結構な歩行距離であった為、歩行練習と気分転換になったと、笑顔でお話して下さいました。

今後も入院中の患者さんに、少しでも彩り豊かな入院生活を過ごしていただけるように、多職種で協力して取り組んでいきたいと思っております。（地域医療連携室 ソーシャルワーカー 中野 明子）



適切なサービスに繋ぐために

～お気軽にお問い合わせ下さい～

現在、地域包括ケア病棟“彩り”、老健やましろ（入所・ショートステイ、通所リハビリ）利用について、地域の皆様から気軽に問い合わせして頂けるよう、相談窓口を一本化しています（左図参照）。

そして、広報活動にも力を入れており、老健やましろの入所、ショートステイ、通所リハビリ利用の相談も地域医療連携室にて承っているところです。

先日、地域の訪問看護ステーションの看護師の方から、老健やましろの通所リハビリ利用の相談を頂戴しました。地域包括ケア病棟“彩り”に入院して行う短期集中リハビリ（2～3週間程度）ではなく、現状のADLを長期的に維持できたらとの意向でした。早速、老健やましろ通所リハビリの担当者に頂戴した意向を伝え、また、担当ケアマネジャーとも相談し、速やかに通所リハビリの体験利用につなぐことができました。

当組合の数あるサービスの中から、患者さんの希望に合った適切なサービス利用に繋げることができるよう、一緒に考えていけたらと思っています。（地域医療連携室 主任 中嶋 庸介）

研修会のお知らせ

～ 胃ろうに関する研修会を開催します ～

以下の日程で研修会を開催します。奮ってご参加下さい。

① 『体験型研修会 ～実際に体験し、利用者さんへの理解を深めませんか～』（主催：地域包括ケアチーム）第1回は、胃ろうの仕組みと注入方法について学びます。お茶ゼリー、栄養補助食品の試飲もあります。見て、触って、味わいましょう。

令和元年11月22日（金）午後2時30分～午後4時00分

② 『胃ろう造設事例を通じて、退院から在宅への支援について』（主催：退院支援チーム）

意見交換会もあります。日時は、令和元年12月3日（火）午後3時00分～午後4時00分

※①②共に会場は、当院9階会議室です。きづがわねっとで回覧しています。奮ってお申し込み下さい。問い合わせ先：地域医療連携室（0774-73-1818）

地域医療連携室より

～ 個室22号室について ～

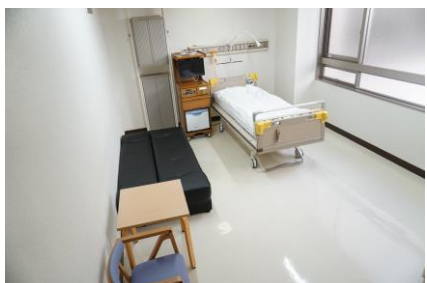


個室22号室は、5階～8階病棟に計5部屋あります（522号室、622号室、722号室、822号室）。22号室は、通常の個室と比較して、約1.5倍の広さがあります。

この度、22号室にソファベッドを設置しました。平らにするとベッドになりますので、患者様の病状などによって付き添いなどをご希望されるご家族にとって、少しでも快適に過ごして頂けたらという思いです。

料金は、通常の個室と同じです。詳細についてご不明な点などがありましたら、医事課までお問い合わせ下さい。なお、通常の個室と同じく、トイレを完備しています。

（地域医療連携室 室長 南出 弦）



		通常の個室	22号室	特別室
料金	組合市町村（木津川市・和束町・笠置町・南山城村）	6,000円（税抜）	6,000円（税抜）	12,000円（税抜）
	組合市町村外（上記以外）	8,000円（税抜）	8,000円（税抜）	16,000円（税抜）
ソファベッド		—	あり	あり
トイレ		あり	あり	あり
その他		—	—	応接セット ミニキッチン ユニットバス 大型クローゼット